

女性指導手強し1,2,3位独占! 新鋭 Nexus von Kyoto Masuda がドイツシェパードIPO日本一!



2014 WUSV世界選手権 日本代表選考競技会 (DSH IPO日本一決定戦)

3月29日 (土)・30日 (日) 岐阜県揖斐郡揖斐川町 はぎながサッカーグラウンド
主催: SVJドイツシェパード犬協会ジャパン 後援: WUSVジャパンオフィス/SV/TKA台湾



2014 WUSV世界選手権 日本代表 (左から) 3 石原葉子・19 田中佐知・24 堀内寿子・26 益田晴夫・4 三谷郁子・15 山口哲也・16 増田朋之

新協会SVJが主催して史上最高の32頭が出場!

10月9~12日の4日間、フランス・ハーゲナウで開催される、ドイツシェパード犬IPO世界一を決定するWUSV世界選手権に、日本代表として出場する5頭 (5指導手) を選出するIPO日本一決定戦が、岐阜県揖斐川町のはぎながサッカーグラウンドにて開催された。

JSVはWUSV会員権停止中、PDはWUSVからの脱会を理事会で審議中であることから、日本でのWUSV会員としての行使権を持つSVJが主催した。本年の選考競技会にはインターネットでの告知だけで、WUSV選考会としては過去最高の32頭 (内

アマチュア指導手8名) が全国から集結し、日本代表としての5つの席をめくって、公開練習も含めると3日間に亘って高いレベルの熱戦が繰り広げられた。

予定していた服従、防衛担当審査員のドイツSV訓練部長ゲルデス氏が全ドイツでのストライキによる飛行機の欠航で、来日が不可能となったが、WUSV加盟協会の台湾TKA訓練部長・林許能氏がSVJの要請に対して急遽、金曜日の夜に来日して事なきを得た。

金曜日・公開練習、出場順番抽選

近県、中県、遠県の3グループに分かれて午前9時から一頭に7分ずつ割り当てられた公開練習が開始された。日本の訓練界ではこの公開練習というのは、あまり馴染みのないものだが、世界大会ではもちろん、ドイツSV訓練ジガー競技会や主要国際大会においては出場者の公平のためと本番で最高の演技をするために不可欠なスケジ

ュールである (*近年の世界大会ではこの公開練習が2日間にも及びます)。公開練習終了後、明日から始まる競技の出場順番の抽選が犬の年齢の若い順番からくじを引くという合理的な方法で行なわれ、いよいよ始まる競技本番を前に出場者たちはそれぞれの思いを秘めて第一日は終了した。

土曜日・好天での追求と服従【今年の最高気温】

昨年の選考会実行委員長とアメリカでの世界大会で日本チームの監督を務めた、SVJ山口郁夫審査員が審査を担当する追求は、長良川の広大な牧草地で午前6時30分から開始された (印跡は1時間前の5時30分)。追求トップバッテリーは昨年の選考会では審査員だった益田&トップが第一物品と最終物品を飛ばして14点減点でまさかの85点、この時点で代表はほぼ絶望的と誰もが思った。続く三谷&初出場アダが95点、九州から遠征のアマチュア指導手で初出場の谷口&キャンノがV評価96点、その後

は、石原&初出場ネクサス97点、田中&テオ97点、山口&クラム96点の4頭が追求においてV評価を獲得した。

「今年は冬の期間の雪が多かったせいか、長い枯れ草が多く条件的には難しいと思われたが、合格点の70点に達しなかった犬は1頭だけで全体的に集中力が高い犬が多く、追求はレベルアップしていました」・・・追求担当審査員 山口郁夫談

何年も前に、観客の一人として、自分とは別の世界の話だと、先分の説明を聞いていた主婦の私が、選考会でご一緒できる日が来るなんて・・・感無量です。土砂降りの防衛作業中の、思い出しても息が止まりそうな、金縛りを除いては、楽しい、楽しい、三日間でした。



九州、山口からの遠征組は、会長の優勝と、主婦二人を含む全員が無事に競技を終え、応援に来てくれたヘルパーの田代さんと小田君に感謝、個人的には、チーム九州の総合評価はV!、と思っています。

特別な競技、という印象の強いシュツ (IPO)、

でも、いつもガミガミ叱られて、ポケ防止、ゴム長靴での追及は、骨粗鬆症予防に最適! そして、犬の健康管理は、そのまま自分の健康管理となり、実は、老化防止にぴったりのスポーツではないかと、密かに思っています。

皆様の夢は世界の舞台、私の夢は、エンツォとのシニアペアで、来年の選考会にも参加できますように!

谷口 明美



アマチュアで総合9位の谷口&キャンノ追求96点



堂々総合3位で代表入りのスーパーウーマン堀内&ラッキー



日本全国のIPO競技にいつも御夫婦で参加なさっている山口県のアマチュア宮本&ヴァルター

追求が終わった犬と指導手は直ちに27km離れた揖斐川町はぎながサッカーグラウンドに移動して服従を行なう。予定通り午前9時から益田&トップと谷口&キャンノ組から開始された。前日金曜日から6月並みの23度を越える今年最高気温。その暑さのためかやや切れを欠いたものの益田&トップが大きなミスなく93点、その後は、石原&初出場ネクサス92点、同じく九州から遠征の人犬ともに初出場の井浦&エーデル92点、いつも安定した服従を見せる増田&アスリート91点、昨年日本代表としてア

メリカでの世界大会に出場して23位の好成績を収めた田中&テオが90点、そして日本訓練界の重鎮、堀内&ラッキー90点。以上6頭が、大きな大会ではとてもハードルが高いとされるIPO服従SG評価を獲得した。

「日本の指導手の皆さんはマナーが良く規定を熟知されています。訓練のレベルと犬の質がとても高いです。主催のSVJと全参加者の皆様に敬意を表します。謝辞」・・・TKA訓練部長・林許能談

DSH IPO日本一決定戦 (WUSV世界選手権日本代表選考会) 成績

		A	B	C	TSB	Total
1	Nexus von Kyoto Masuda 所:石原葉子 指:石原葉子	97 V	92 SG	96 V	a	285 SG
2	Theo von Kyoto Masuda 所:田中佐知 指:田中佐知	97 V	90 SG	96 V	a	283 SG
3	Lucky von Kyoto Masuda 所:堀内壽子 指:堀内壽子	93 SG	90 SG	94 SG	a	277 SG
4	Top von Kyoto Masuda 所:益田晴夫 指:益田晴夫	85 G	93 SG	97 V	a	275 SG
5	Ada von der Verstandheim 所:加藤健次 指:三谷郁子	95 SG	88 G	92 SG	a	275 SG
6	Chlam von Zwei Bruecken 所:山口哲也 指:山口哲也	96 V	87 G	91 SG	a	274 SG
7	Asrid vom Haus M.1 所:増田朋之 指:増田朋之	93 SG	91 SG	90 SG	a	274 SG
8	Nord Suché Lazce 所:河野隆至 指:望月利彦	95 SG	89 G	90 SG	a	274 SG
9	McCartney JP'S Cannon 所:谷口明美 指:谷口明美	96 V	82 G	95 SG	a	273 SG
10	Xido von der Verstandheim 所:三谷郁子 指:三谷郁子	93 SG	87 G	93 SG	a	273 SG
11	Nello of Y.Maeda 所:江連香葉子 指:江連香葉子	95 SG	87 G	88 G	a	270 SG
12	Walter von Kyoto Masuda 所:宮本好晴 指:宮本好晴	95 SG	80 G	94 SG	a	269 G
13	Zero of Zippy Treasure 所:稲尾淳子 指:稲尾淳子	92 SG	89 G	86 G	a	267 G
14	Baldur vom ZACC 所:江口タミ子 指:堀内壽子	82 G	89 G	95 SG	a	266 G
15	Jura Ja-iv-To 所:奥山 諒 指:高津幸平	87 G	86 G	92 SG	a	265 G
16	Edel vom Haus Shion 所:與儀明美 指:井浦智之	88 G	92 SG	83 G	a	263 G
17	Decade-Owl of Sacred Wolf 所:木川武光 指:木川武光	89 G	85 G	86 G	a	260 G
18	Alex von Kyoto Masuda 所:高村誠二 指:高村誠二	91 SG	73 B	91 SG	a	255 G
19	Yodel of Kyuhoku 所:池田多津子 指:池田多津子	88 G	76 B	89 G	a	253 G
20	Ypern von der Verstdndheim 所:加藤健次 指:望月利彦	76 B	80 G	94 SG	a	250 G
21	Decade-Luna of Sacred Wolf 所:木川武光 指:樽川麻衣	75 B	88 G	86 G	a	249 G
22	Guillette of Thistle Farm 所:松本和幸 指:佐伯亜矢乃	80 G	81 G	84 G	a	245 G
23	Valada II von der Verstdndheim 所:四家聖香 指:四家聖香	78 B	74 B	90 SG	a	242 G
24	Nazca von Kyoto Masuda 所:豊田桂子 指:豊田桂子	81 G	84 G	77 B	a	242 G
25	Geri vom Haus T.Mochi 所:田丸大路 指:田丸大路	89 G	71 B	80 G	a	240 G
26	Helga of Y.Maeda 所:松田絵美 指:松田絵美	82 G	70 B	87 G	a	239 B
27	Eternal-Bank of Sacred Wolf G (SV) 所:船津雅幸 指:木川武光	83 G	70 B	80 G	a	233 B
---	Mani von Kyoto Masuda 所:須藤保成 指:須藤保成	80 G	67 M	87 G	a	M
---	Decade-Liza of Sacred Wolf 所:木川武光 指:笹岡朋恵	62 M	83 G	80 G	a	M
---	Derby von Zwei Bruecken 所:勝柴正幸 指:鈴木勝俊	75 B	60 M	86 G	a	M
---	Will vom Haus Shiho SG (SV) 所:大畑恵美子 指:大畑周永	90 SG	72 B	Disq	---	M
---	Karat von Nagano Tenryu 所:葛野あつ子 指:葛野あつ子	76 B	78 B	sick	---	---

日曜日・土砂降りの防衛【一日の雨量が今年最高】

前日土曜までの好天とは打って変わって朝から土砂降りの雨、この6ヶ月間で一日で降った雨量としては最高記録とのこと。しかし会場のはぎながサッカーグラウンドは抜群の水はけで足元がぬかることもなく、定刻より30分遅れはしたものの8時30分から追求と服従の合計点数の少ない順番で開始された。

審査員はSV訓練部長ゲルデス氏の予定であったが飛行機の欠航により来日できず、SVJ山口審査員が前日の追求に続いて防衛も審査をした。

前半に登場する犬は代表入りの可能性はないものの、8番目に登場した望月&イベルンが力強いグリップを示して94点を獲得。15番目に登場した堀内&バルドゥールも安定した強いグリップでここまで最高の95点を獲得。18番目に登場したのは、日本における主要IPO競技会すべてに出場している、山口県から遠征のアマチュア指導手宮本&ヴァルターが94点。宮本さんに続いて19番目に登場したアマチュアの谷口&キャノンは95点という高得点をマークして、96-82-95総合点273点として暫定1位となり、この点数が基準となって上位の順位が決まりそうな雰囲気になってきた。そして追求で物品を二つ飛ばすという大きなミスで追求85+服従93=持ち点178点の20番目で登場した益田&トップが、第2ヘルパーの禁足場面で少し集中を欠いただけの、ほぼ完璧な防衛をやったのけ、97点を獲得して合計を275点として代表入りにわずかな希望を残した。

防衛で高得点を出せば代表入りというシビれる状況で、午後からは11頭が登場。最初のグループの4頭は三谷&クシード93点、井浦&エーデル83点、稲尾&ゼロ86点、江連&ネロ88点で代表入りには今一歩届かなかった。そしていよいよ最後の7頭が登場、山口&クラムが91点で合計274点。三谷&アダが若さあふれる防衛を披露して92点で275点。そして堀内&ラッキーは94点合計277点として代表入りを確定。続く望月&ノルトが90点合計274点で代表確定とはならず他の犬の結果待ち。増田&アスリートも90点274点で同じく他の犬の結果待ち。そしていよいよ最後の2頭、田中&テオが片袖からのリリースの際に少しグリップに落ち着きを欠いた以外は安定した防衛でV96点とし貫禄の2年連続代表入りを確定。IPO3レベル初出場ながら追求97服従92として大トリで登場した石原&ネクサスは禁足咆哮で少し集中を欠いた以外は若さあふれる防衛でV96合計285点で見事優勝しての日本代表入りとなった。

確定の上位3頭を除く4位以下は史上稀に見る大接戦となった今年の選考会であったが、WUSV日本代表は1・石原、2・田中、3・堀内、4・益田、5・三谷、補欠・山口、補欠・増田となった。



日本一のタイトルと代表の座を獲得した石原&ネクサス



防衛で97点を獲得して大逆転で代表入りした益田&トップ



牝で唯一代表入りした三谷&初出場アダ



IPO審査チーム 山口郁夫(SVJ)、林許能(TKA)、上谷輝樹、石田貴之

圧倒的強さのvon Kyoto Masudaと女性ハンドラー

ここ数年の選考会で上位を独占しているvon Kyoto Masuda犬舎作出犬、なんと3年連続で表彰台を完全独占している。2012年は1~5席、2013年は1~3席、そして今年も1~4席をvon Kyoto Masuda犬舎から作出された犬が独占した。

そしてもう一つ注目すべきは、昨年ドイツSV訓練ジューガー競技会で「こんなことはもう二度とない」と話題となった女性指導手の1、2、3位という事態が今回の選考会でも起きた。1位・石原さん、2位・田中さん、3位・堀内さん、上位3名、そして5位・三谷さんを合わせると代表5名中4名が女性指導手である。

またもレジェンドを刻んだSVJ

史上最高の出場頭数、女性指導手の上位独占、最高気温、最高雨量、予定のSV審査員が来れなくなっても一晩で代わりの審査員を海外から招聘、土砂降りの雨でも破れない防水の成績表、その日のうちにインターネットに発表される成績等々、とにかくこの新しい協会SVJは“持っている！計算されつくしたイケイケを実行しまくっている！”。2月のWUSVシンポジウムとSVJジューガーショーの大成功レジェンドに続いて、今回のWUSV選考会でもレジェンドを刻んだSVJ。今後もこの新しい協会による犬界構造改革を大いに期待したい。

犬界新聞社は日本代表の活躍を応援します！

2014 WUSV世界選手権 10月9日-12日 フランス・ハーゲナウ 公式サイト www.wusv2014.com